

東京大学大学院工学系研究科「医療社会システム工学寄付講座」シンポジウム

H23年度 PCAPS研究会・QMS-H研究会 成果報告シンポジウム

H23年度 厚生労働科研 がん臨床研究(質評価指標開発研究:飯塚班)成果報告

H23年度 文部科研 医療の質向上を実現する質マネジメントシステムモデルの開発と検証成果報告

医療社会システムの確立に向けて

2012年3月10日(土), 11日(日) 於:東京大学本郷キャンパス安田講堂

研究会代表:飯塚悦功(東京大学), 研究会副代表:棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療は社会技術です。ここでいう社会技術とは、社会が全体として保有していなければならない技術(目的達成のための再現可能な方法論)という意味です。すなわち、質・安全保証された効率的な医療の提供に必要な知識・技術の体系(BOK, Body of Knowledge)が確立され、然るべき人々がそれらの知識・技術を獲得できて、現実に医療機関において実装され効果を挙げている状況を作り出すための、社会全体が保有すべき方法論です。

医療の質・安全の維持・向上のために必要な知識・技術には、医療に固有の知識・技術とそれらの知識・技術を組織的に活用するためのマネジメント技術の双方が必要です。本シンポジウムでは、この2つの「知」を融合し、「社会知」として運用する「医療社会システム」の構築に向けた議論を、東大安田講堂において、2日間にわたって行います。

PCAPSによる臨床知識の構造化研究では、知識コンテンツを用いた臨床運用を支援するアドミニストレータの機能充実に伴い展開されているPCAPS実装トライアルの紹介と、PCAPS研究の重要なアウトプットである臨床分析について、またがん診療プロセスの質改善をねらう質評価構造モデルと質評価指標の開発研究について紹介します。さらに、PCAPSを応用した他研究プロジェクトとして、診療ガイドライン作成、がん診療情報データベース、学会の体系的疫学調査についても紹介します。

医療質マネジメントシステムモデルであるQMS-Hの研究に関しては、文書管理、管理指標、標準プロセスモデル、質・安全教育など本年度の重点課題とその成果を報告します。また、ポスターセッションで各病院の活動、研究成果を紹介するとともに、医療界へのQMS-Hの普及・促進に関する取組みとその成果、今後の課題について議論を行います。

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

■ 1日目:2012年3月10日(土)10:00-17:30

「臨床知識の構造化と臨床分析」

- I. PCAPS: 臨床プロセスモデル・臨床運用モデル・臨床分析モデル
- II. PCAPS実用化に向けた実装トライアル
・急性期病院 ・回復期病院 ・周産期 ・訪問看護 など
- III. PCAPSを用いた臨床分析事例
・小児疾患, 乳がん, 慢性腎不全(CKD), リハビリ, 慢性閉塞性肺疾患(COPD), 生体肝移植, など
- IV. パネルディスカッション: 他プロジェクトにおけるPCAPSの展開
・厚生労働科研: がん研究(若尾班) ・厚生労働科研: ガイドライン研究(中山班)
・小児心疾患実態調査(小児循環器学会)
- V. パネルディスカッション: がん診療プロセスの質評価
・厚生労働科研: がん臨床研究(飯塚班)
- VI. 運用に向けた臨床知識の構造化と臨床分析(ポスターセッション)
・各領域のコンテンツと臨床分析, など
- VII. 代表総括(医療社会システムの構築に向けて)

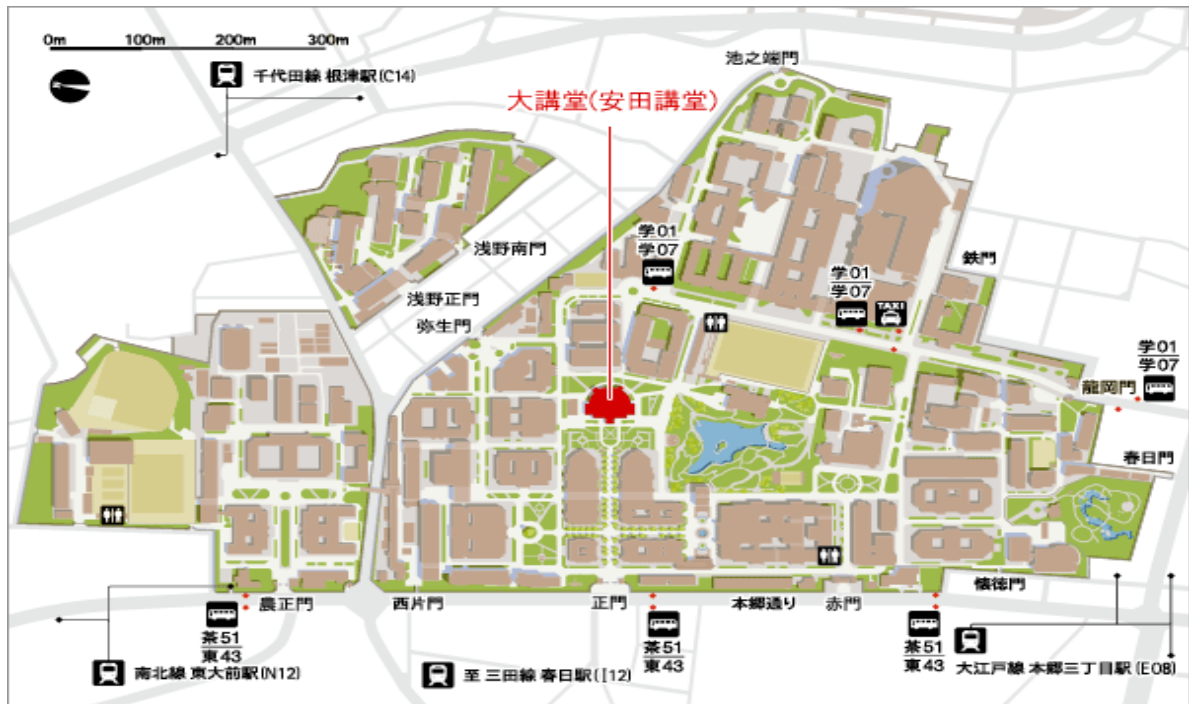
■ 2日目:2012年3月11日(日)9:30-17:00

「QMSの医療界への普及・促進に向けて」

- I. 本研究会が目指すべきものとその意義
- II. 社会技術としての医療質・安全マネジメントの概念と実装
・QMS-Hの普及・啓発 ・QMS導入・推進の検証事例
- III. 文書管理システムの開発と実践事例
- IV. 医療における管理指標
- V. 標準プロセスモデルの開発
- VI. 質・安全教育体系と実践事例
・教育体系の開発 ・実践事例と討論
- VII. ポスターセッション
・各病院のQMS活動 ・QMS-H要素の研究開発
- VIII. 本年度の活動のまとめと今後の課題
・開発されたQMS-H要素 ・医療界への普及・促進に向けての今後の課題

(申込方法:裏面をご覧ください。)

キャンパス周辺図



本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩15分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩12分
 湯島駅, 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩12分
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
 春日駅(地下鉄三田線) 徒歩15分

都バス利用 茶51駒込駅, 王子駅または東43荒川土手
 操車所前行
 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
 学バス利用 学07東大構内行 - 東大(龍岡門, 病院前,
 構内バス停)下車

■参加費・参加申し込み:

参加費は無料です。ただし、資料準備のため、必ず事前に参加申し込みをしてください。参加申し込みなく当日参加された場合、資料が準備できない場合がありますので、ご了承ください。

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX, 参加予定)を記入の上, 下記 E-mailまたはFAXでお申し込みください。この用紙を申込書として, FAXにて送付いただきましても結構です(必要事項を必ずご記入ください)。

シンポジウム事務局 E-mail: pcaps-qms@tqm.t.u-tokyo.ac.jp TEL:03-5841-7299 FAX:03-5841-7276
 PCAPS研究の詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/>をご参照ください

【参加申込書】

※1 参加予定欄に下記のア), イ), ウ)のいずれかをご記入ください。

参加予定日 [ア).3/10と3/11の2日間とも参加 イ).3/10のみ参加 ウ)3/11のみ参加]

ふりがな 氏名	ご所属/ 職種	E-mailアドレス	TEL/ FAX	参加 予定※1